

春日部市立大増中学校 第2学年 国語科 シラバス

内 容

学期・月	学習の内容	学習のねらい
1 学期	4月 (詩) 見えないだけ (言語) アイスプラネット (聞く) 意見を聞き、整理して検討する	・言葉の使い方や表現の特徴に着目し、自分なりの感想をもちながら読む。 ・登場人物の言動に着目して、人物の関係や心情の変化を捉える。 ・意見と根拠を捉え、整理して検討する。
	5月 (古典) 枕草子 (情報) 情報のレッスン 思考の視覚化 (紹介) 多様な方法で情報を集めよう (漢字) 熟語の構成 (報告) クマゼミ增加の原因を探る (情報) 思考のレッスン 1	・日本の四季を描いた情景描写の巧みさを読み取り、作者の四季の捉え方や感じ方について自分の考えをもつ。 ・話の道筋や論点が見えるよう整理する。 ・多様な方法を用いて、様々な情報を収集する。 ・熟語の構成について理解する。 ・文章と図表の関係に注意して読む。 ・具体的な情報を基にして抽象化する。
	6月 (説明・提案) 魅力的な提案をしよう。 (文法) 単語をどう分ける? (書写) 硬筆 (短歌) 短歌に親しむ 短歌を味わう	・話の構成を工夫し、自分の考えが伝わるように話す。 ・活用のある自立語と活用のない自立語の性質や働きを理解する。 ・正しい姿勢で美しい字を書く努力をする。 ・歌の内容について、知識や経験と結び付けて読み深める。
	7月 (情報) メディアを比べよう (隨筆) 言葉の力 (言葉) 類義語・対義語・多義語 (言葉) 語彙を豊かに (読書) 読書を楽しむ	・身の回りにあるメディアを比べて特徴を理解する。 ・さまざまな考え方があることを知り、知識や経験と結び付けて自分の考えを深める。 ・類義語・対義語・多義語を理解し、言葉の幅を広げる。 ・言葉について理解を深め使いこなす。 ・本との出会いを通して豊かな読書生活を築く。
	9月 (小説) ヒューマノイド (隨筆) 字のない葉書 (対話・質問) 聞き上手になろう (手紙) 表現を工夫して書こう (推敲) 表現の効果を考える (言葉) 敬語 (1時間) (漢字) 同じ訓・同じ音をもつ漢字	・作品の構成や登場人物の描写に着目して、人柄や心情を読み取る。 ・人物の言動や様子の描写に着目して、人柄や心情を捉える。 ・話の内容に注意して相手の思いや考えを受け止める。 ・相手や目的に応じて、気持ちや用件が的確に伝わるよう表現を工夫する。 ・文字や表記の正しさ、自分の気持ちが効果的に伝わる表現になっているか検討する。 ・敬語の働きについて理解する。 ・同音同訓を使い分ける。
2 学期	10月 (論説) モアイは語る—地球の未来 (情報) 思考のレッスン 2 (意見) 根拠の適切さを考えて書こう (討論) 異なる立場から考える (討論) 立場を尊重して話し合おう (詩) 月夜の浜辺	・文章の構成や論の展開に着目して、筆者の主張を捉える。 ・根拠を把握する。 ・自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。 ・古典の文章を朗読して、その独特の調子やリズムに慣れ、作品を読み味わう。 ・2つの異なる立場から考える。 ・互いの立場や考え方を尊重しながら話し合う。 ・言葉の響きやリズムを味わいながら音読する。
	11月 (古文) 平家物語・扇の的・仁和寺にある法師 (漢詩) 漢詩の風景 (評論) 君は最後の晚餐を知っているか	・古典に親しみ、登場人物の言動の意味を考え、ものの見方や考え方を捉える。 ・漢詩特有の言葉遣いや調子を生かして読み味わい、心情に触れる。 ・筆者の絵画の見方について、自分の知識や体験と関連づけて考えをもつ。
	12月 (文法) 走る。走らない。走ろうよ。 (読書) 研究の現場によこそ (話す聞く) 話し合って考えを広げよう (書写) 書き初め	・用言の活用について理解する。 ・自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。 ・社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考え方を想定して考えをまとめ、論理的な構成を考えて話す。 ・毛筆の行書に慣れる。
3 学期	1月 (鑑賞文) 魅力を効果的に伝えよう (小説) 走れメロス	・読み手に伝わるように表現の効果を考えて書く。 ・心情を表す語句や、登場人物の言動の意味などを考え、人物像の変化を捉え、作品を読み深める。
	2月 (文法) 一時違いで大違い (創作) 構成や展開を工夫して書こう (言葉) 話し言葉と書き言葉 (言葉) 送り仮名 (報告) 国語の学びを振り返ろう	・付属語について理解する。 ・場面や気持ちの変化が効果的に伝わるように、文章の構成や描写を工夫して書く。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 ・漢字を正しく覚え、書く。 ・これまでの学習を振り返り、国語を学ぶ意義を考える。

	3月	(詩)木 (話す聞く書く)一年間の学びを振り返ろう	・言葉の意味を考えながら作者が詩に込めた思いを捉え、自分の考えをもつ。 ・1年間の学習について、資料や機器などを使って簡潔に発表するとともに、互いの考えについて話し合い、自分の考えを広げる。
--	----	------------------------------	--

評価

<評価の観点>

- ① 知識・技能
 - 言葉の特徴や使い方に関する事項
 - 情報の扱い方に関する事項
 - 我が国の言語文化に関する事項
 - 言語事項 (漢字テストやワーク、文法)
- ② 思考・判断・表現
 - 話すこと・聞くこと (スピーチや討論会等の話し合い活動、発表や発言、音読、定期テストなど)
 - 書くこと (感想メモ、作文や詩などの作品、定期テスト、ワークシートやレポートなど)
 - 読むこと (定期テスト、ワークシート)
- ③ 主体的に学習に取り組む態度
 - 毎時間の授業への取り組み、提出物の内容、自己評価や相互評価の記述内容

教材・テスト・学習の方法

<使用教材・必要な道具等>

- ◇常に使用するもの
教科書 ノート 漢字ワーク ワーク(ワークノート) 便覧
- ◇必要に応じて使用するもの
書写セット(硬筆・毛筆) 文法ノート

<テスト提出物>

学期	テスト予定	提出物
1学期	期末テスト	ノート 漢字 ワーク
2学期	中間テスト 期末テスト (夏休み明けテスト)	ノート 漢字 ワーク
3学期	期末テスト (冬休み明けテスト)	ノート 漢字 ワーク

※学習進捗状況や、学習理解度によって、範囲が変更する場合も考えられます。

<学習の進め方>

